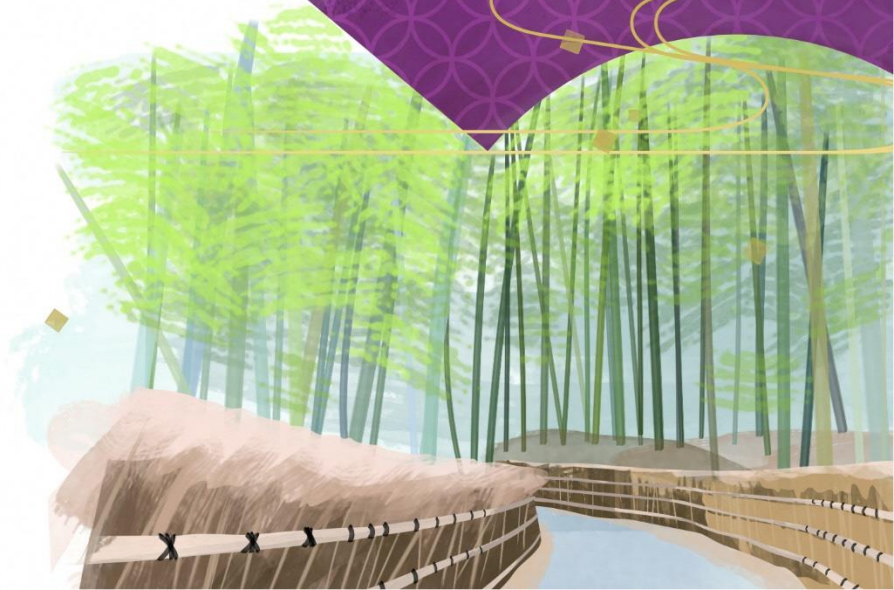
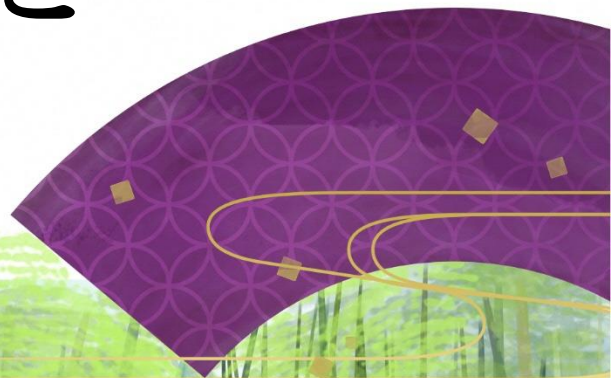


京都府の財政状況と 経営改革の取組

令和6年3月



京都府

目次



■ 京都府の概要	2
■ 起債運営について	8
■ 府政ビジョン	12
■ 京都府の財政状況と府政改革への取組	14

京都府の概要



京都府広報監
まゆまる

京都府の概要

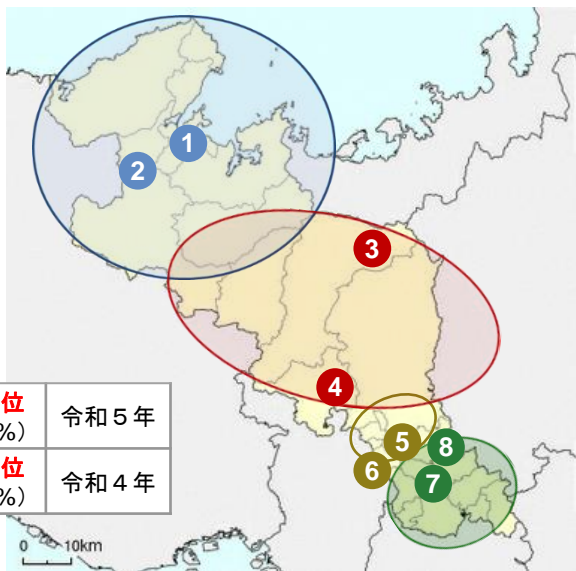


- 京都府の人口や経済の規模は都道府県で概ね10位前半に位置し、全国でも比較的規模の大きな団体です。
- また、古都京都の文化財や日本三景の一つである天橋立をはじめ、歴史・文化・自然・景観など多くの歴史資源・観光資源を有するとともに、都道府県魅力度ランキングでは全国2位の実績を有しており、日本国内における自治体としての知名度・人気度は高いものとなっております。

京都府の基本データ

都道府県魅力度ランキング	57.3ポイント	全国2位	令和4年度
面積	4,612km ²	全国31位	令和5年
人口	258万人	全国13位	令和2年
府内総生産	10兆1,680億円	全国13位	令和2年度
1人当たり府民所得	275万円	全国30位	令和2年度
製造業付加価値額	2兆4,798億円	全国16位	令和3年
大学数(人口10万人あたり)	1.33校	全国1位	令和3年度

都道府県魅力度ランキング(出所)：株式会社ブランド総合研究所



国指定重要文化財数	2,211件	全国2位 (16.5%)	令和5年
歴史的風土保存区域	8,513ha	全国1位 (42.4%)	令和4年



「海の京都」



① 天橋立 (日本三景)

- 何千年もの歳月をかけて自然が作りだした神秘的造形
- 多数の日本百選にも選ばれている日本三景の一つ



② 丹後ちりめん街道 (日本遺産)

- 約300年にわたって丹後ちりめんを織り続けてきた地
- 伝統的な建物や職人文化を感じることができる



「森の京都」



③ 京都丹波高原国定公園

- 原生的な自然を有した、希少な動物種の生息地
- 日本海と京都を結ぶ多くの街道が通っており、自然と文化が融合した地域



④ 保津川下り

- 亀岡市から京都市の名勝嵐山までの約16kmを川下りする
- 長岡京時代から行われており、長い歴史を持つ



「竹の里・乙訓」



⑤ 竹の径

- 美しい日本の歩きたくなる道500選にも選ばれる癒やしの名所
- 風がおこす笹音や香りを楽しむ散策路



⑥ 長岡天満宮

- 学問の神様として有名な菅原道真公がご祭神
- 樹齢約170年のキリシマツツジの回廊は息を飲む美しさ



「お茶の京都」



⑦ 石寺の茶畑 (日本遺産)

- 急傾斜の山の上にも美しい茶畑が広がる
- 府指定の景観資産第1号として知られる観光名所



⑧ 平等院 (世界遺産・国宝)

- 藤原頼通により開かれた寺院
- 阿弥陀如来坐像が安置された御堂は10円硬貨にも描かれている

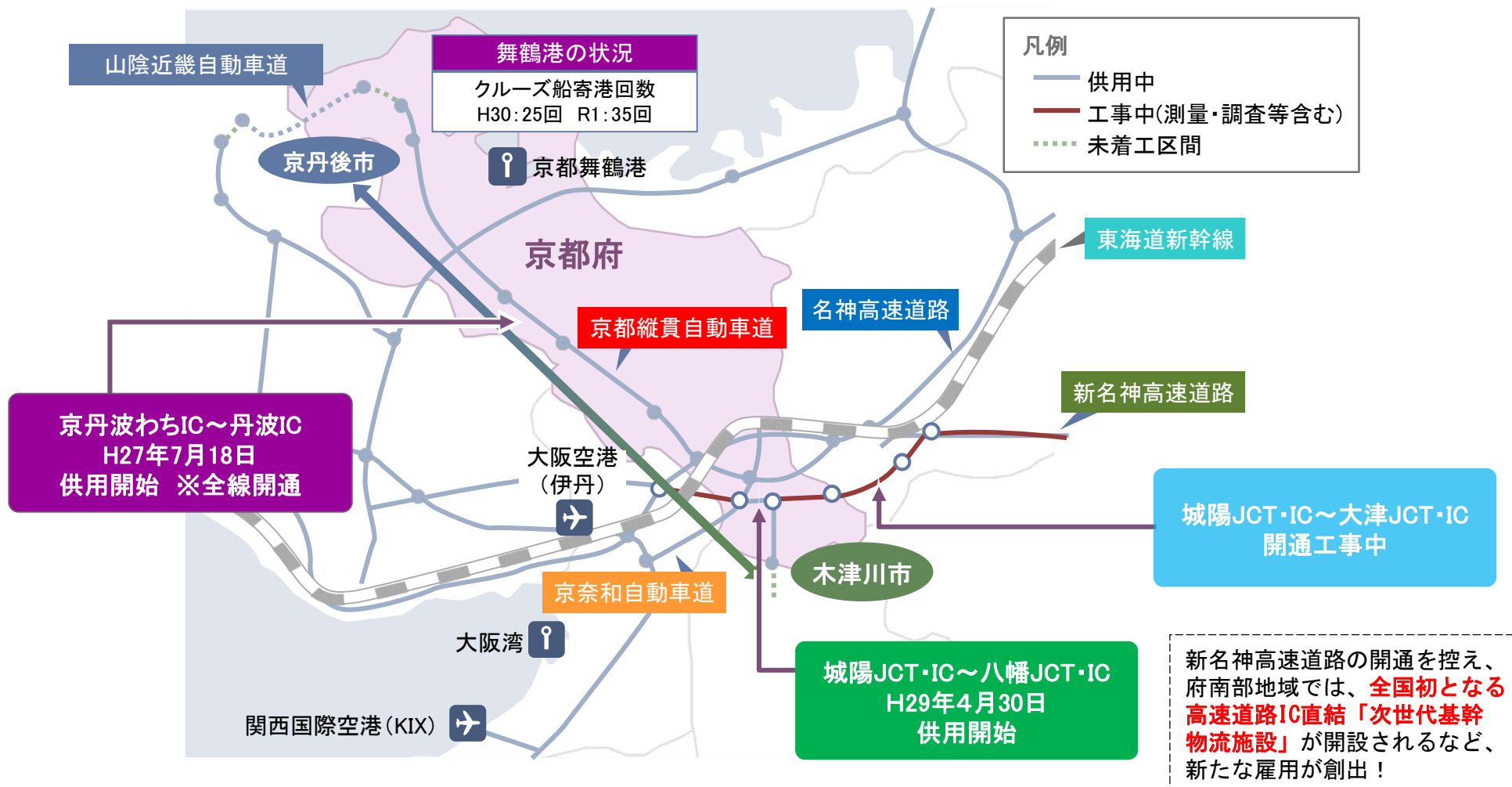


交通ネットワーク



- 名神、新名神高速道路、JR東海道新幹線など東西方向の大動脈に加え、大阪空港から約55分、関西国際空港から約75分と基幹空港からの高いアクセス性を有しており、物流における利便性の高さを活かすことで、日本国の経済基盤の一翼を担っております。

京都府の交通ネットワーク



自然災害に対する対策

- 京都府では、風水害や地震などの大きな災害の発生に備え、災害の予防や災害が発生した場合の応急対策及び復旧対策を行うため、府や国の機関、市町村、消防関係機関、公共機関などで構成する京都府防災会議において、「京都府地域防災計画」を作成しております。
- 本計画は毎年点検及び修正を行っており、京都府では過去の教訓を活かすとともに、実情や時代に合った防災対策を行っております。

風水害対策

- 京都府では豪雨や台風被害の教訓を活かし、**河川の改修や貯水池の整備**、さらには府民の**避難マニュアルや河川防災情報サイト**の作成などを進めてきました。
- **大野ダムをはじめとするダムや農業用ため池において、利水者協力のもと事前放流を行い**、洪水被害を防止・軽減させます。



いろは呑龍(どんりゅう)トンネル
浸水被害に悩まされてきた、京都市、向日市、長岡京市地域の浸水対策として、整備を進めている。これまでの浸水被害軽減効果は延べ約3000戸(推定値)にのぼる。



危機管理型水位計
リアルタイムで水位情報を提供し、円滑な住民避難に役立っている。

土砂災害対策

- 砂防えん堤などの対策工事をはじめとする**ハードの対策**と、雨量観測などの情報収集や土砂災害に関する情報提供などの**ソフト対策**を積極的に推進しています。
- 個々の災害に臨機応変に対応することで、**防災・減災**を実現します。

土石流対策

土石流の原因になる土砂流出を抑えたり、えん堤や流路工などを整備



京都府マルチ

ハザード情報提供システム
住所を入力すれば、その場所の土砂災害に関する危険性などをピンポイントかつ複合的に知ることができます。

地震・津波対策

- 京都府では地震被害の軽減・抑止を図るため、市町村や防災関係機関、府民、企業などと連携し「**京都府戦略的地震防災対策指針**」を策定しました。
- 南海トラフ地震及び直下型地震の発生の可能性が高まる中、各種施設の**耐震化率向上**をはじめ、従来の対策を超える**徹底した地震防災対策**に取り組みます。



浄化センター防災訓練

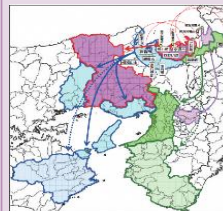
京都府内の浄化センターでは、地震による下水道施設の被害を想定し、関係する市町の下水道部局とも連携しながら、実践的な訓練が行われている。



危機管理センター常設
自然災害や大規模事故などに対応する体制を強化するため、常設の危機管理センターを設置。災害時に速やかな意思決定をめざす。

原子力災害対策

- 高浜発電所及び大飯発電所の30km圏内に在住する府民の安全を確保するべく、**国に安全確保対策を強く要請**しています。
- 原子力災害時における**避難手段の確保や情報提供**、さらには**モニタリング体制**などを整備し、原子力災害に備えています。



広域避難の実施

原子力施設で事故が起こった際、避難を余儀なくされた場合に備え、あらかじめ受け入れる府県・市町村を定めている。



「京都府防災・防犯情報メール」
事前に登録した地域の気象情報や原子力災害を含む防災情報などがリアルタイムで配信され、危険をいち早くキャッチすることができる。

「京都力」を活かした特色ある産業構造

- 京都府経済は、建都1200年の歴史と文化を土台とした「観光産業」と「伝統産業」、伝統産業の優れた技術に新たな知恵を加えて発展した「ハイテク産業」など、京都ならではの付加価値の産業構造に強みがあります。
- さらに、平成31年3月にオープンした京都経済センターを核として、創業から経営相談、人材育成などのワンストップ支援体制を構築しています。

西陣織	京漆器	京友禅
京仏壇	京焼・清水焼	丹後ちりめん

etc.

- 丹後ちりめん
「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」が「日本遺産(JapanHeritage)」に認定(H29.4.28)

「京焼・清水焼」の焼成技術
セラミック・コンデンサ、人工歯

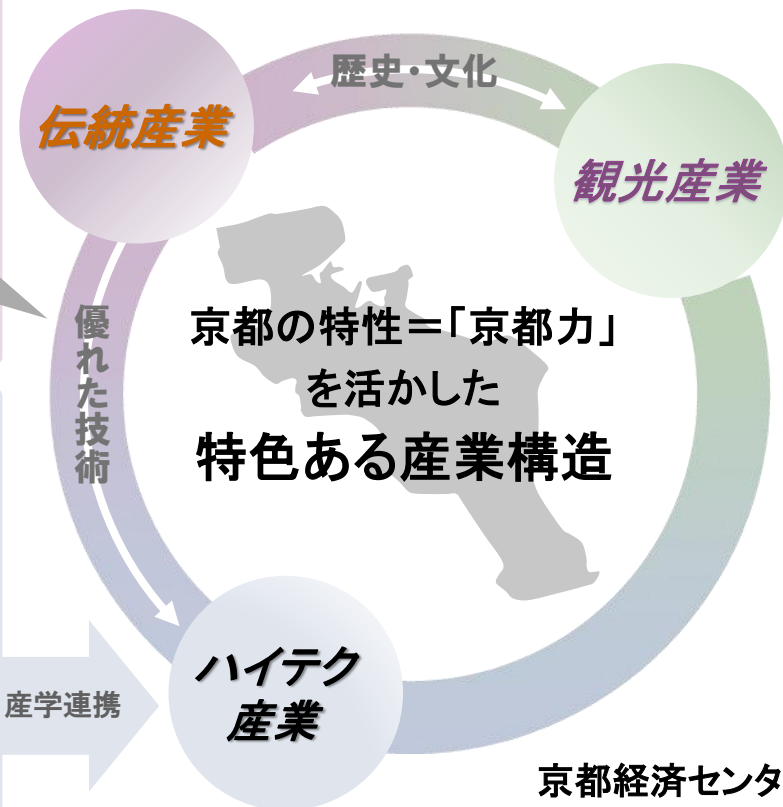
「西陣織」の絹糸精練加工技術
界面活性剤・高分子薬剤

- 大学・研究機関の集積
- 府内に7国公立大学と27私立大学(人口あたりの学生数・大学数とも全国1位)
- 理化学研究所が、関西文化学術研究都市にiPS創薬拠点を設置

×

オムロン (京都市)	任天堂 (京都市・宇治市に工場)
京セラ (京都市)	堀場製作所 (京都市)
島津製作所 (京都市)	村田製作所 (長岡京市)
ニデック (京都市)	SCREEN (京都市)

etc.



～万博等を機に京都観光を新たなステージへ～

「京都府観光総合戦略」を改定(R5.7)

- 「交流」と「持続性」の2つを基本理念
- 推進する重点プロジェクト例

(1) 大阪・関西万博きょうと誘客プロジェクト(仮称)

(2) 川の恵みを生かした広域周遊プロジェクト(仮称)

(3) 京都学生・観光プロジェクト(仮称)

美しい自然

府北部	日本三景・天橋立や世界ジオパーク
府中部	芦生の森や丹波高地の里地・里山
府南部	宇治茶の茶畑景観 etc.

京都経済センター

- 京都の経済団体等が集結し、様々な知恵が融合した新たな価値を生み出す「交流と融合」の場を提供
- 「京都スタートアップ・エコシステム推進協議会」を設立し、幅広い機関と連携した支援体制を強化
- リカレント教育やキャリア相談を行う生涯現役クリエイティブセンターを開設



高付加価値を創造する企業群



- 京都府の製造業は、「京都ならではの」高い技術力に支えられ、ハイテク分野をはじめとした多彩な分野・品目で全国トップクラスのシェアを占めています。
- また、独自の技術を有する高収益の優良企業も多く、京都府の法人課税所得金額は全国第7位となっています。

京都府が出荷額で上位の主な品目

分野	品目	出荷金額	全国順位
ハイテク 研究器具	公害計測器	115億円(28%)	2位
	材料試験機	154億円(42%)	1位
	医療用X線装置	222億円(17%)	2位
	工業計器	371億円(15%)	2位
伝統工芸	既製和服・帯	83億円(48%)	1位
	ちりめん類	29億円(87%)	1位
	紋紙(ジャカードカード)	7億円(47%)	1位
	宗教用具	57億円(17%)	1位
飲食品	清酒	439億円(12%)	2位
	味りん(本直しを含む)	83億円(30%)	2位
	緑茶(仕上茶)	254億円(11%)	2位
	紅茶(仕上茶)	9億円(5%)	2位

(出所)総務省・経済産業省「2022年経済構造実態調査」、()内は全国シェア

都道府県別の法人課税所得金額

順位	都道府県	課税所得金額(百万円)	法人数	
			法人数	順位
1	東京	28,231,025	613,240	1
2	大阪	5,822,128	244,062	2
3	愛知	3,250,180	1163,445	4
4	神奈川	1,986,236	184,037	3
5	福岡	1,270,151	105,949	8
6	兵庫	1,242,338	105,082	9
7	京都	1,168,175	60,269	12
8	埼玉	1,124,320	136,033	5
9	北海道	1,101,454	116,389	6
10	千葉	1,058,198	109,703	7
11	静岡	827,998	74,117	10
12	広島	821,576	61,657	11
13	岐阜	484,610	42,308	16
14	新潟	469,160	41,259	18
15	長野	461,773	44,114	14

課税所得金額 法人数
7位 ↔ 12位

(出所)国税庁「統計年報」(平成29~令和3年度の平均)



起債運営について



京都府広報監
まゆまる

京都府の起債運営の特徴



● 京都府では、投資家の皆様の御意見・御要望を踏まえて、起債運営に反映させるなど、市場との対話を重視した起債運営を行っております。

シ団方式で発行する
公募公債は原則3の倍数月
(6月、9月、12月、3月)
に発行します

- 5年債、10年債については年間の資金計画策定の一助となるよう、発行月を特定しております。
- 発行回数についても、府債の購入機会増加の御要望を頂き、発行回数を増加させております。

個別投資家訪問を
積極的に行っております

- 京都府の財政状況等について、より多くの投資家の皆様に御理解を頂くため、積極的な個別IRを実施しております。

商品性の改善を
積極的に行っております

- 投資家の皆様からの御要望を踏まえ、新たな発行形態や年限の導入を常に検討しております。

- 平成25年度にフレックス枠を新設し、投資家の皆様の御意見・御要望やその時々々の市場環境を踏まえた機動的な起債運営を実施してきました。

- 今後も投資家の皆様との対話を重視した起債運営を実施いたします。

令和3年度以降の主幹事方式起債履歴

単位: 億円	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
5年				100	150	70
10年	150		100			
20年						
20年定時償還	150	200	100	80		80
30年定時償還		100				



発行実績及び本年度計画



- 令和4年度は、フレックス枠を活用し、4月に10年債と20年定時償還債、10月に5年債と20年定時償還債を発行しました。また、8月には超長期債100億円を発行しました。
- 令和5年度は、フレックス枠を活用し、4月に5年債、10月に5年債と20年定時償還債を発行しました。また、8月には超長期債100億円を発行するとともに、グリーン共同債(11月、3月)を新たに発行しました。

〈令和4年度〉	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年債			100				100	100	100				400
10年債	100		100				100			100			400
20年債	100 (定時償還)	(フレックス枠)			100		80 (定時償還)	(フレックス枠)					280
30年債													0
共同発行債	50	100	50	50	50		50	50	50	50	50	50	600
合計	250	100	250	50	150	200	230	50	250	50	50	50	1,680

〈令和5年度〉	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年債	150 (フレックス枠)	100					100	70	100			100	620
10年債			100				100		100			100	400
20年債					100		80 (定時償還)	(フレックス枠)					180
30年債													0
共同発行債	50	100	50	50	50		50	70	60	50	50	20	600
合計	200	100	250	50	150	200	200	70	260	50	50	220	1,800

(グリーン共同債)

(御参考) 京都府の過去の発行実績



- 前述の本府起債運営方針に則り、3月・6月・9月・12月の定例5年・10年債を発行しております。(※R3・R4については3月発行は中止)
- また、近年では、20年債に加え、20年定時償還債・30年定時償還債など、多様な年限を発行しております。

年度	条件決定日	回号	発行額 (億円)	年限	利回り (%)	払込日	満期日	発行価格 (円)
R3	4月2日	R3-1	150	10	0.199	2021/4/13	2031/4/13	100.00
	4月2日	R3-2	150	20(定時)	0.323	2021/4/13	2041/4/13	100.00
	6月4日	R3-3	100	5	0.010	2021/6/18	2026/6/18	100.00
	6月4日	R3-4	100	10	0.150	2021/6/18	2031/6/18	100.00
	8月4日	R3-5	200	20	0.405	2021/8/16	2041/8/16	100.00
	9月3日	R3-6	100	5	0.005	2021/9/16	2026/9/16	100.00
	9月3日	R3-7	100	10	0.105	2021/9/16	2031/9/16	100.00
	10月7日	R3-8	200	20(定時)	0.235	2021/10/18	2041/10/18	100.00
	10月7日	R3-9	100	30(定時)	0.406	2021/10/18	2051/10/18	100.00
	12月3日	R3-10	100	5	0.001	2021/12/16	2026/12/16	100.00
	12月3日	R3-11	100	10	0.130	2021/12/16	2031/12/16	100.00

年度	条件決定日	回号	発行額 (億円)	年限	利回り (%)	払込日	満期日	発行価格 (円)
R4	4月6日	R4-1	100	10	0.289	2022/4/15	2032/4/15	100.00
	4月6日	R4-2	100	20(定時)	0.401	2022/4/15	2042/4/15	100.00
	6月3日	R4-3	100	5	0.060	2022/6/17	2027/6/17	100.00
	6月3日	R4-4	100	10	0.309	2022/6/17	2033/6/17	100.00
	8月3日	R4-5	100	20	0.873	2022/8/15	2042/8/15	100.00
	9月2日	R4-6	100	5	0.115	2022/9/16	2027/9/16	100.00
	9月2日	R4-7	100	10	0.374	2022/9/16	2032/9/16	100.00
	10月5日	R4-8	100	5	0.150	2022/10/17	2027/10/15	100.00
	10月5日	R4-9	80	20(定時)	0.553	2022/10/17	2042/10/17	100.00
	12月2日	R4-10	100	5	0.235	2022/12/16	2027/12/16	100.00
	12月2日	R4-11	100	10	0.554	2022/12/16	2032/12/16	100.00

府政ビジョン



京都府広報監
まゆまる

京都府総合計画



- 京都府の行政運営の指針となる「京都府総合計画」を令和4年12月議会での議決を経て改定しました。
- 京都府がめざす方向性について、概ね20年後を展望し、実現したい将来像を理念的に示す「将来構想」、概ね4年間の具体方策を示す「基本計画」及び「地域振興計画」によって構成されています。

京都府総合計画の概要

将来構想	20年後に実現したい 京都府の将来像	一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府をめざして
	4つの姿	<ul style="list-style-type: none"> ① 人と地域の絆を大切にする共生の京都府 ② 文化の力を継承し新たな価値を創造する京都府 ③ 豊かな産業と交流を創造する京都府 ④ 環境と共生し安心・安全が実現できる京都府
基本計画	8つのビジョンと 基盤整備	<p>「将来構想」で掲げた将来像の実現に向けた8つのビジョン</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 安心できる健康・医療・福祉の実現 ② 災害・犯罪等からの安心・安全の実現 ③ 子育て環境日本一・京都の実現 ④ 誰もが活躍できる生涯現役・共生京都の実現 ⑤ 共生による環境先進地・京都の実現 ⑥ 未来を拓く京都産業の実現 ⑦ 文化の力で世界に貢献する京都の実現 ⑧ 交流と連携による活力ある京都の実現
	8つの広域連携 プロジェクト	<p>府全域で連携して相互に施策効果を高めていく8つの広域連携プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 産業・物流広域連携プロジェクト ② 環境広域連携プロジェクト ③ 文化・スポーツ広域連携プロジェクト ④ 観光・交流広域連携プロジェクト ⑤ 京都府北部地域連携都市圏広域連携プロジェクト ⑥ 南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクト ⑦ 京都府南部イノベーションベルト 広域連携プロジェクト ⑧ グレーターけいはんな広域連携プロジェクト
	分野別基本施策	<p>20分野ごとに「2040年に実現したい姿」を示し、「現状分析・課題」「4年間の対応方向・具体方策」「数値目標」により目標達成に向けた方向性や手段を体系的に明らかにしています</p>
	地域振興計画	<p>山城地域振興計画 ～個性豊かなそれぞれのエリアが魅力を輝かせ、つながり、更に発展する山城地域～</p> <p>南丹地域振興計画 ～来てよし・観てよし・住んでよし 交流人口・関係人口1,000万人超の賑わいと活気のある京都丹波～</p> <p>中丹地域振興計画 ～心つながる田舎の魅力と都市機能の両方を享受し、海・里山・まちを舞台に 求める暮らしが実現できる地域を～</p> <p>丹後地域振興計画 ～安心して「元気」に住み続けることができ、希望が持て夢が実現できる丹後地域～</p>

文化庁が京都に移転！（明治維新以来初の中央省庁の移転が実現）

- 政府の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、文化庁の京都への全面移転が決定。平成29年度から、文化庁の組織として「地域文化創生本部」を設置し、本格移転の準備を進めてきました。
- また、平成29年7月25日に開催された文化庁移転協議会において、文化庁の移転先が現京都府警察本部本館に決定され、令和5年3月27日から京都での業務を開始しました。



京都府の財政状況と 府政改革への取組



京都府広報監
まゆまる

京都府の財政改革の取組



財政健全化指針 (平成11年度～15年度)	目標額 650億円 に対して 677億円 の収支改善を達成
経営改革プラン (平成16年度～20年度)	目標額 500億円 に対して 597億円 の収支改善を達成
府民満足 最大化プラン (平成21年度～25年度)	目標額 600億円 に対して 781億円 の収支改善を達成 <ul style="list-style-type: none">■ 依然厳しい収支見通しのなか、人材・資金・施設等の限られた財産を府民満足の一点に集中■ 府債残高(臨時財政対策債を除く)を平成25年度末に減少させる目標を達成
府民満足最大化・ 京都力結集プラン (平成26年度～30年度)	目標額 400億円 に対して約 560億円 の収支改善を達成 <ul style="list-style-type: none">■ 府民サービスのワンストップ化の推進など、サービスの質の向上を目指した「連携・協働型府政」を推進■ 持続可能な財政構造を確立するため、必要な社会資本への投資等により地域経済を活性化させることで税収増を目指し、社会資本ストックを形成している府債残高と税金などの返済資金との適正なバランスを実現
行財政改革プラン (令和元年度～5年度)	目標額 400億円 に対して約 420億円 の収支改善を達成 <ul style="list-style-type: none">■ 各部局が主体的に効果や優先順位を踏まえた事業の再構築を進める「新陳代謝促進プログラム」の導入■ 未利用地の売却やネーミングライツによる歳入確保と国費等の財源確保
行財政 運営方針 (令和6年度～10年度)	<ul style="list-style-type: none">■ 次世代型の行政手法への転換<ul style="list-style-type: none">－ 生産性の高い業務推進体制を確立するとともに働き方改革やオフィス改革等の取組を推進■ 持続可能な財政構造の確立<ul style="list-style-type: none">－ 施策の新陳代謝や重点化を図るとともにふるさと納税やクラウドファンディング等を活用し、多角的な財源確保に向けた取組を推進■ 現場課題対応型の組織体制の確立と人材育成<ul style="list-style-type: none">－ 本庁、広域振興局及び地域機関の組織見直しを進めるとともに、時間外勤務縮減やハラスメントの未然防止等を推進 <p>→効果的・効率的な府政運営を進め、約300億円の収支改善を見込む</p>

特徴的な府の施策①(子育て環境日本一に向けた取組)



- 「子育てにやさしい社会」は全ての世代にとっても暮らしやすい社会との認識のもとに施策を推進。
- 「社会で子どもを育てる京都」の実現に向けて、出会い・結婚から妊娠、出産、子育て、教育、就労に至るまで切れ目のない支援を実施。

子育ての楽しさ広げる事業

風土づくり

R6年度当初予算:6百万円

若者が企画し、子どもが主役で街や商店を運営する「**京都版ミニ・ミュンヘン**」をモデル実施するとともに、子育て世帯が安心ベビーモニターなど、「**子育て楽しテック**」に触れて体験できる見本市を開催。



「キッズフレンドリー施設」の展開

風土づくり

お子様連れでの外出を応援する「キッズフレンドリー施設」を展開。

- ①JR京都駅等に**ベビーケアルーム「mamaro」**を設置(R3.11～)
- ②京都中央郵便局に**子育て応援レーン**を設置(民間施設初)(R4.5～)
- ③府内商店街の店舗に**おむつ回収機**を設置(R4.10～)



子育てにやさしいまちづくり事業

まちづくり

R6年度当初予算:65百万円

市町村による子育てにやさしいまちづくりの取組を**ハード・ソフトの両面**から包括的に支援し、これまで**府内25地域**で実施。
⇒市町村が策定するまちづくり計画を認定し、支援する制度を創設(R6)



子育てにやさしい職場づくり事業

環境づくり

R6年度当初予算:73百万円

子育てしやすい職場づくり → 企業価値の高まり → 多様な働き方と人材確保の好循環を生み出し、社会全体で子育てを支える環境を構築。

- ① 子育て企業サポートチームが延べ2.5万社訪問(目標)、②企業による「行動宣言」の推進 ※2,385社(R6.1末時点)
- ③ 「行動宣言」を実践に移すための様々な支援制度 ※専門家チームの派遣、多様な働き方推進補助金による支援等



特徴的な府の施策②(文化庁とも連携した文化施策の展開)



- 移転した文化庁との連携をさらに深め、新たな文化施策を展開し、全国へと波及させることで地方創生へとつなげる。

全国高校生伝統文化フェスティバル

文化庁共催

R6年度当初予算: 18百万円

全国各地で**伝統文化に勤しむ全国トップレベルの高校生**が京都に集い、日頃の成果を披露し合い交流する文化フェスティバルを開催し、**日本文化の担い手の育成と地域活性化・観光集客向上**につなげる。



こころを育む古典の日の推進

文化庁共催

R6年度当初予算: 7百万円

平成24年度に法制化された「**古典の日**」(11月1日)において、**古典の魅力**を**京都から国内外に発信**。



Art Collaboration Kyoto

R6年度当初予算: 41百万円

我が国の**アート市場の活性化**に向け、京都において、日本と海外のギャラリー、行政と民間、美術とその他の領域など、**様々なコラボレーションによるアートフェア**を開催。**京都の若手作家育成の仕組みを構築**。



京都伝統文化の体験交流広場

R6年度当初予算: 25百万円

府内各地で**伝統文化の保存団体**などで活動する、子どもたちが**各々の取り組む地域の伝統文化を披露・体験し合い**、**子ども同士、子どもと大人が相互に交流**できる場を創出



特徴的な府の施策③(スタートアップ・エコシステムの形成)



- スタートアップ・エコシステムの形成・拡充に向け、スタートアップ・カンファレンス「IVS」やドバイでの展示交流会「KYOTO,JAPAN IN DUBAI」を開催。

日本最大級のスタートアップ・カンファレンス「IVS」の京都開催

R6年度当初予算:84百万円

特徴1. アジア最大級の影響力

セッション250、スピーカー700、サイドイベント100、約20のサイドイベント等の併催など、**アジアNo.1の影響力を持つプラットフォーム**。(R5実績:参加者10,500名、うち海外2,200名、学生700名)

特徴2. 「KYOTO STAGE & AREA」の設置

京都のスタートアップ企業やエコシステムを世界に発信するためのゾーンを設置。
スタートアップ企業や京都の先端シーズの発表、京都に根付く精神性に関するセッション等を実施。

特徴3. 国際ピッチコンテスト「IVS LAUNCHPAD」優勝者に「京都府賞」を授与

京都のエコシステムの発信とスタートアップ企業の京都への集積を促進するため、**国際スタートアップアワード「スタートアップ京都国際賞」**を創設し、**受賞企業に最大1,000万円を支援**。



世界最速で発展したドバイでの「KYOTO,JAPAN IN DUBAI」の開催

R6年度当初予算:50百万円

- アジア・アフリカ・欧州のハブ**として、**投資家・企業のサテライトオフィス・富裕層等**が集積し、**政府主導の大規模な都市開発・経済政策**で「**世界最速で発展した国**」ドバイでの**展示交流会**を開催。
- 世界的なスタートアップ企業へと飛躍を遂げるために必要な**大型資金調達**や**実証実験パートナー**、**協業先獲得**に向けた**グローバル企業・VC・政府・大学等とのビジネスマッチング**を支援。
- 延べ12,000人の来場**があり、**一部の企業においては1億ドル以上の資金調達**に繋がった例もあり。

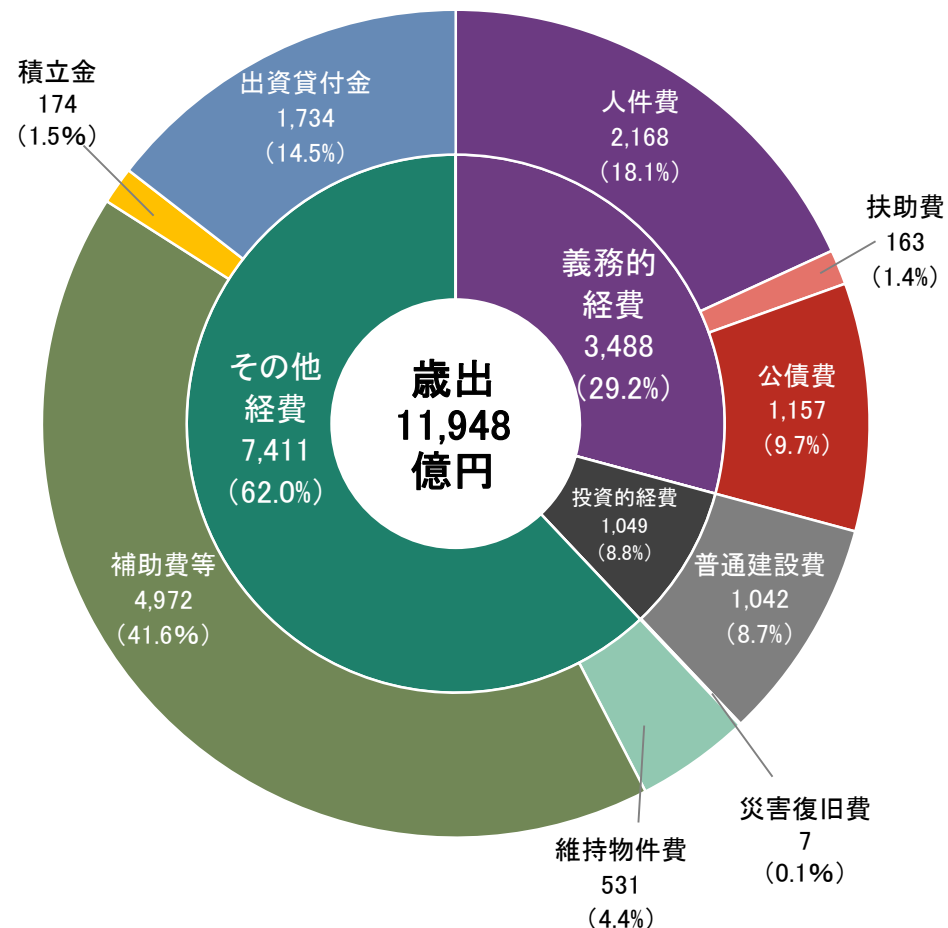
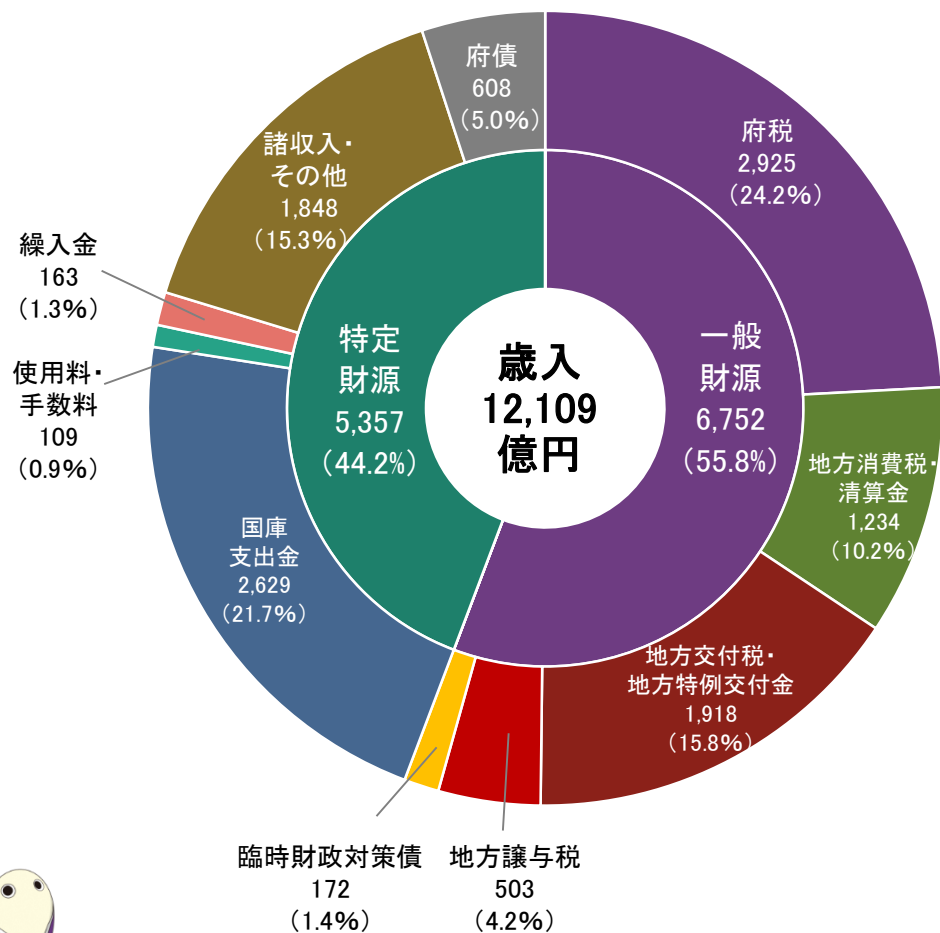


一般会計歳入・歳出決算の構成



- 令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰対策のために、1兆円超の決算規模(3年連続)となりました。
- 新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰対策については、国庫支出金等の財源を最大限活用し、一般財源比率は5割以上を確保しております。

令和4年度一般会計決算



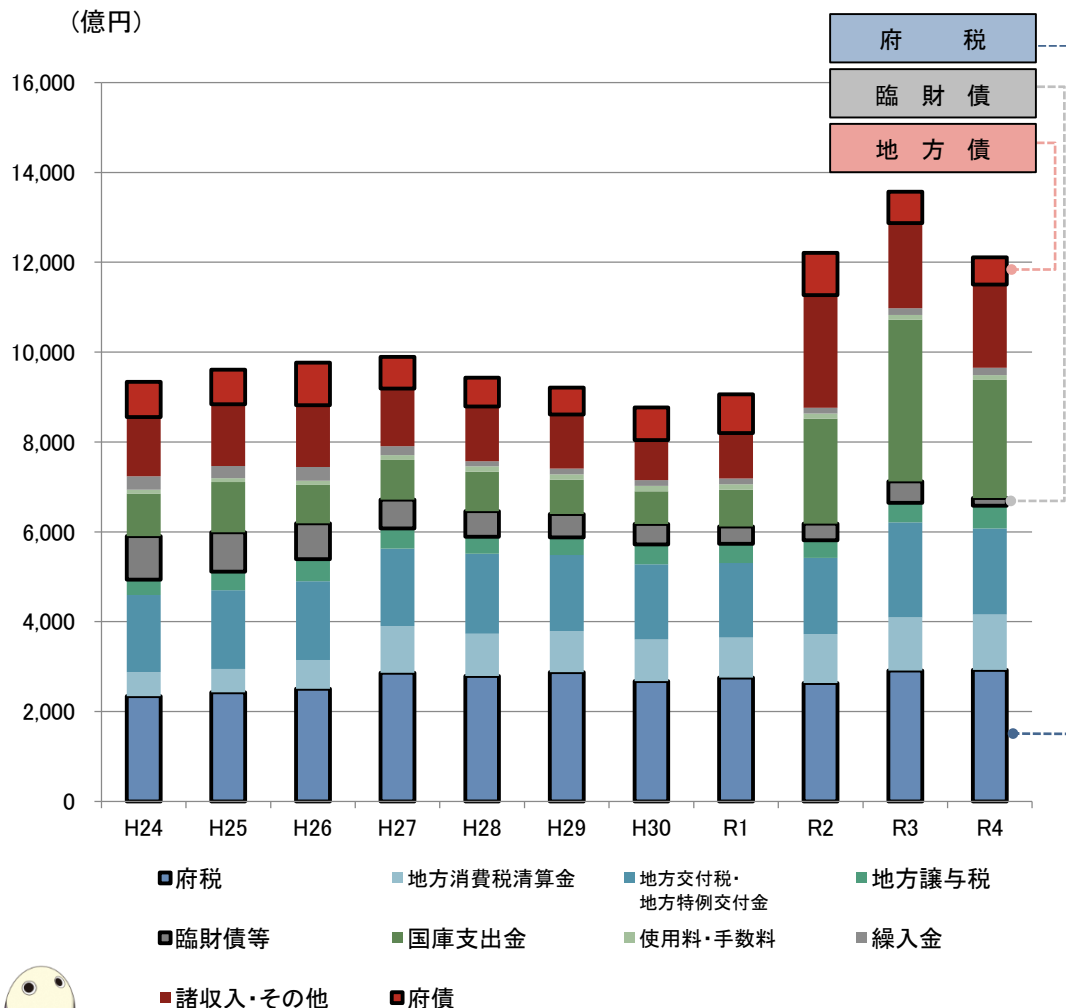
一般会計歳入・歳出決算の推移



- 令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策や原油価格・物価高騰対策のために、1兆円超の決算規模(3年連続)となりました。
- 社会資本への投資等については、府債残高と税金などの返済資金とのバランスに配慮しています。
- 人件費は圧縮傾向を維持している一方、公債費は増加傾向にあります、償還に交付税措置がある臨財債の増が大きく影響しています。

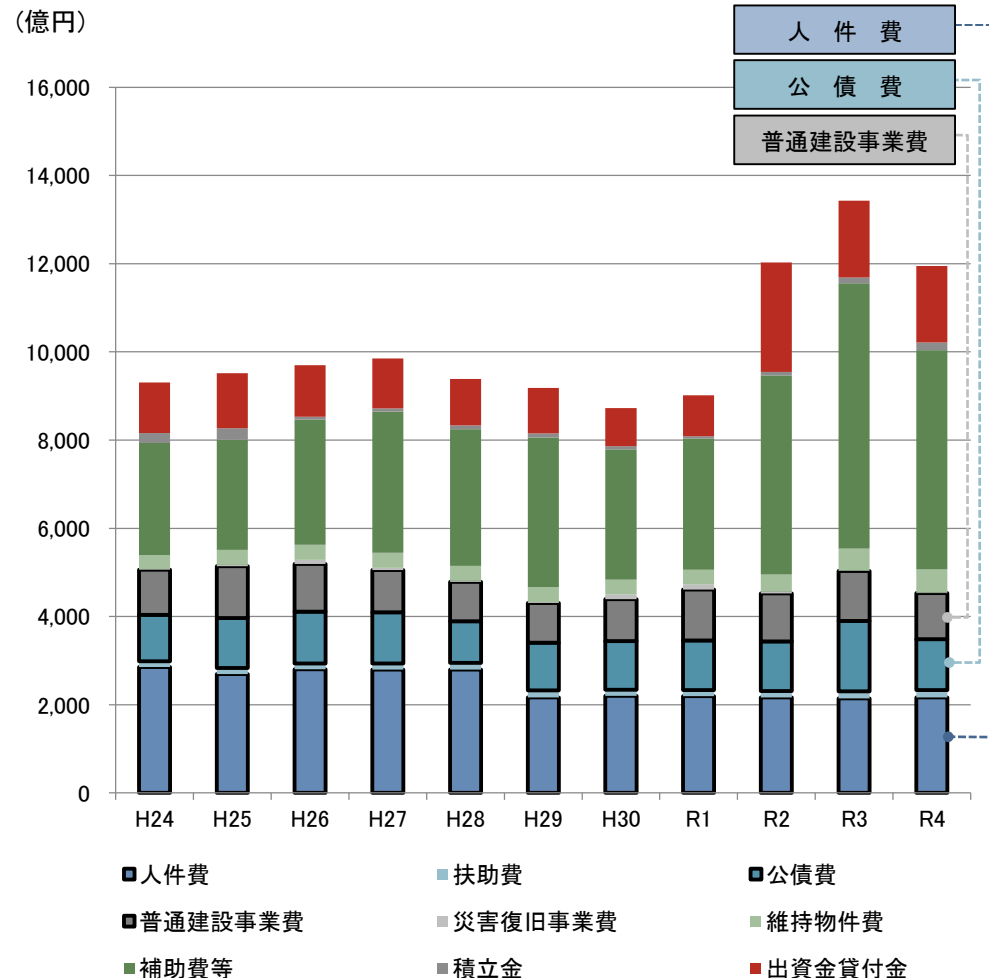
歳入決算額の推移

(億円)



歳出決算額の推移

(億円)

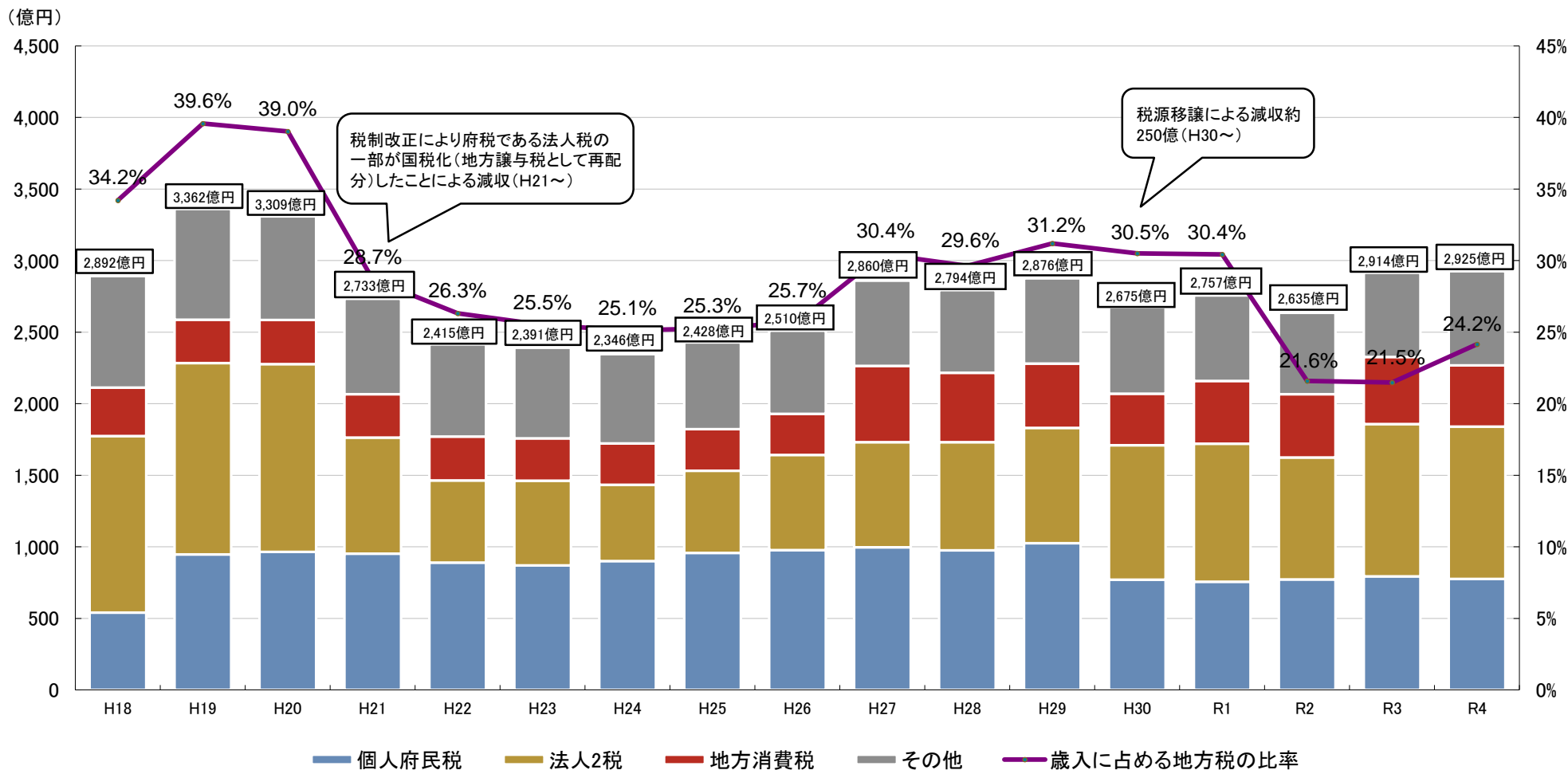


府税収入の状況



- 令和3年度に引き続き、企業業績の回復により、法人2税が増収となるなど、総額は約11億円増の約2,925億円になりました。
- 今後の税収については、個人消費や観光関連等幅広く回復が見られる状況にあるものの、長引く物価高騰や不安定な国際情勢等が税収に影響することも考えられることから、その動向を注視していく必要があります。

府税決算の推移



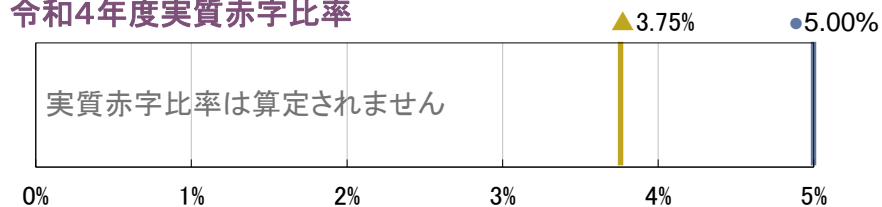
健全化4指標・財政力指数の状況



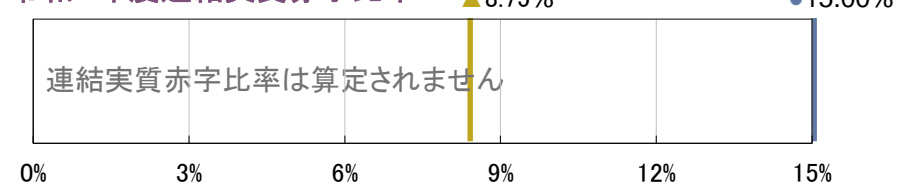
- 健全化4指標についてはいずれも財政再生基準、早期健全化基準を大幅に下回る値となっています。
- また、財政力指数は全国平均を上回る数字で推移しており、本府の財政状況の堅調性を表しております。

令和4年度一般会計決算

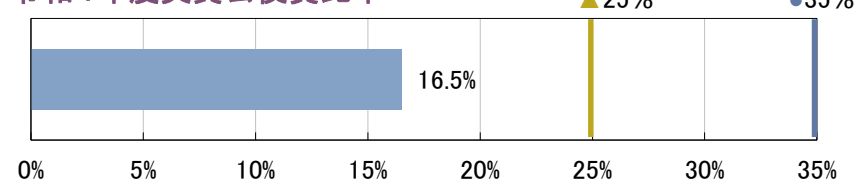
令和4年度実質赤字比率



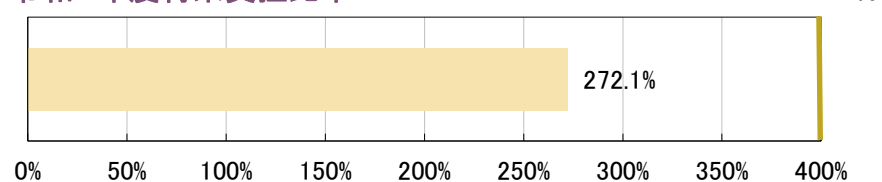
令和4年度連結実質赤字比率



令和4年度実質公債費比率



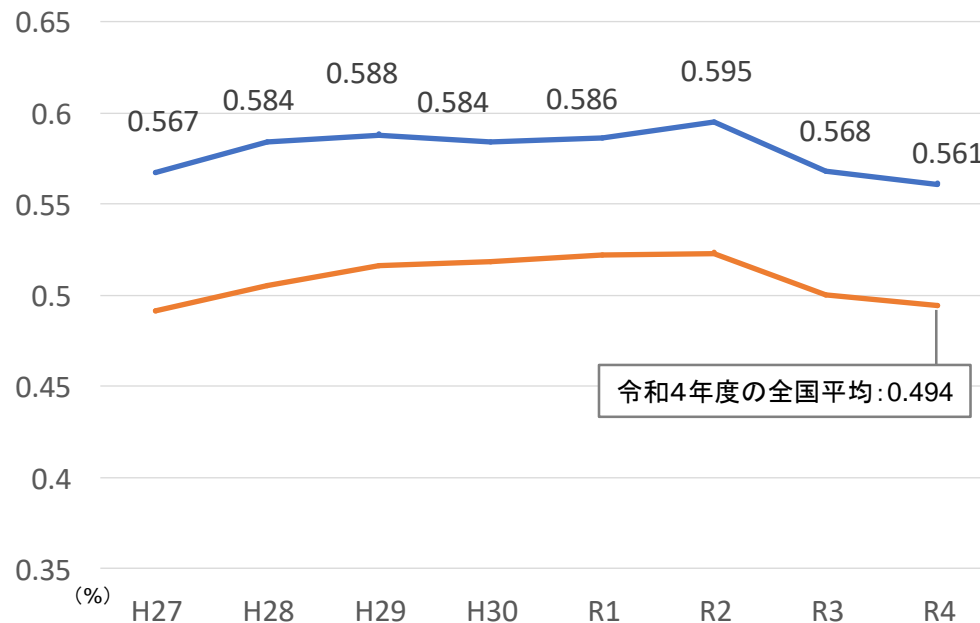
令和4年度将来負担比率



▲ 早期健全化基準 ● 財政再生基準

※将来負担比率基準（▲）については早期健全化基準のみ。

財政力指数の推移



財政力指数とは

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があると言える指数



問い合わせ先



京都府総務部財政課 資金係

電話 075-414-4415

FAX 075-441-7308

課長補佐兼係長 長谷川 大祐
d-hasegawa34@pref.kyoto.lg.jp

主 任 岩橋 和弥
k-iwahashi55@pref.kyoto.lg.jp

財政課URL <http://www.pref.kyoto.jp/zaisei/index.html>



京都府広報監 まゆまる